

## 政策評価に関する統一研修（地方研修）那覇会場講演概要

平成 28 年 7 月 27 日開催

講 義 名：統計データによる政策の評価 ～政策効果の把握に必要な統計データの適正かつ有効な利用について～（演習）

講 師：日本大学経済学部教授

経済産業研究所コンサルティングフェロー 小滝 一彦

講義時間：11 時 30 分～12 時 10 分（演習に必要な講義）、13 時 10 分～14 時 30 分（演習）

### <演習に必要な講義>

#### I 政策の事前・事後の評価の必要性

時代はあれもこれもという時代ではなくなっている。あれを採るかこれを採るかになる。しっかり評価をして考えていかなければいけない時代になってきている。政策の事前、事後の評価の必要な時代になってきている。

#### II 政策の目的は？評価の視点

##### \* 政策の目的は？

市場経済は万能には動いていないので、役所がやることはたくさんある。たくさんあるから厳選していかなければならない。

政策の目的は、市場経済を補正・補完し、「国民を幸せにすること」。しかし、数字を取って産業が増えればいいのかという必ずしもそうではなく、数字で測れないものもたくさんあるということも知っておく必要がある。

##### \* 評価の重要性

官から民への流れの中で役所がしなくてはいけないことはたくさんある。政策の必要性や効果をしっかりと評価して出す。それだけではだめで、それを他人が他人なりに評価することも可能にするようにデータをしっかりと公開する。あるいは自分は何のデータを使って計算をしたかということも明らかにする。他人が検証ができるようにこのようなデータを使ってこのように検証をしたというようにしておくことは非常に重要である。

##### \* 評価の視点

評価を考えるときには、正確なロジック・モデルが必要となる。アウトプットの前にアウトカムがある、道路が出来たけれども人が使っていなかったというようなことがあってはいけない。

### <演習>

午後は具体的な例を用いて演習的に行っていきたい。以下講師の問いに参加者が答え、講師がそれに解説する形で進行

#### III 統計データ、行政業務データを用いた数量的な評価

(問)：次の政策のアウトプットとアウトカムの計測方法を考えてみて下さい。

巡回による夜道の安全向上

(Q) 夜の治安が悪い。これを市民でパトロール隊を組んで夜道の安全を確保します。

こうした行政を行う場合がある。アウトプットとアウトカムは何なのか。それぞれを計測するにはどうすればいいのかを考えて下さい。

(A) 犯罪の発生率で測る。

(講師) 犯罪の発生率の減少で測ることができる。これがアウトプットになる。

(Q) それではアウトカムは何で測ることになるのか。犯罪が3件起きていたがそれが0になった。犯罪が起こらなくなればそれでいいのか。アウトプットはそれでいいがアウトカムは何になるのか。また、それを測る方法はあるのか。

(A) 夜に出歩く人が多くなる。

(講師) 夜道の危険を気にしないで出歩くことができる。安全だということがわかれば終電まで楽しんで帰ることができる。アウトカムは夜に安心して活動できるということになる。

(Q) それでは測る方法があるか。何かのデータを使って間接的にでもいいので犯罪率が減った結果、この地域の人々は幸せになっているということをやうまく説明するとすればどんな方法があるか。

(講師) 幾つかあるが、似たような状況にあるがそのようなことをしなかったエリアと比べてみて、そのうえでこのエリアに住む若い女性が増えた。そういうような人たちが借りる家賃が上がった。空室率が減った。あるいはその地域の商店街のレストランなどの営業時間が延びた。そうした見方をしていくことになる。この場合効果が出る対象が限られているので、若い女性が増えたとかそれによってアパートの空室率が減ったとかということは計測できるアウトカムになる。

#### IV 統計データの分析で注意すべきこと

- \* 分析する対象をそろえる。
- \* 経済メカニズムを無視しない
- \* ダブルカウント

(問)：次の政策評価の問題点を挙げて下さい。

(Q) 我が市の中央を流れる一級河川の堤防のかさ上げが行われます。これまで50年に一度の規模の水量しか守れなかったものが、今後は100年に1度クラスの水量でも大丈夫です。防ぐことのできる予想被害額は、300億円です。また、この堤防によって、兩岸の地価が200億円上昇すると見込まれます。併せて500億円の治水効果がある。

(A) 被害が300億円というのはそれが効果の方に加算されていることになるのではないか。

(講師) その通りです。堤防を高くすると、何年かに1回くるはずの300億の災害が来なくなる。来なくなれば安心して土地が使えて高くなるので地価が上がるということになるが、これは同じものごとを裏から見ていることになる。このようにダブルカウントを行う人はたくさんいる。このようなことをすると世間から信頼をなくすことになる。

- \* 外的環境の変化を考慮に入れる。
- \* 見かけ上
- \* 正確な政策評価のための統計分析手法

このように、統計の専門的知識よりも統計を適用するときの大枠の設定のところで頻りに間違っていて、統計に詳しい人に限ってむしろこうした間違いを乱発する。

行政官として統計を使う人をうまく指揮していく。あるいは間違った統計の使い方を見抜くということが説得力のある、効果のある行政のPDCAサイクルの確立に向けて、非常に効果的であることを最後に付け加えさせていただく。